

深呼吸したくなるまち

エコみつけ

ここはエコのど真ん中

発行・編集

見附市 都市環境課

〒 954-8686

新潟県見附市昭和町2丁目1番1号

TEL : 0258-62-1700

FAX : 0258-62-7062

メール : token@city.mitsuke.niigata.jp

エコドライブを实践しよう

地球とお財布にやさしいエコドライブを心がけましょう

エコドライブとは、燃費消費量やCO2排出量を減らし、地球温暖化防止につなげる運転技術や心がけのことです。エコドライブを心がけることで、燃費の節約や、地球温暖化対策などの面で大きな効果を発揮するだけでなく、交通事故の防止にもつながるメリットがあります。

ちょっとした心がけの積み重ねで、環境にもお財布にもやさしく、同乗者や車に乗らない人にも配慮した、エコドライブを实践してみましょう。

エコドライブのメリット

1 地球温暖化防止

日本全体で排出されているCO2の内の約1割が自家用車によるものです。急発進や加減速の激しい運転を避けるだけでも、CO2排出量を減らすことができ、地球温暖化対策に効果があります。

2 ガソリン代の節約

燃費が向上し、ガソリン代を節約できます。年間12万円のガソリン代がかかるとして燃費が10%改善すれば、ほんの少しの心がけの積み重ねで1万円以上も節約できます。

3 事故防止

ゆっくりとした発進や減速は交通事故のリスクを減らします。

エコドライブ10のポイント

ふんわりアクセル eスタート

最初の5秒で、時速20kmを目安に穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう。10%ほど燃費が改善します。

車間距離にゆとりをもって

無駄な加速・減速をすると2~6%燃費が悪化！
交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。

減速時は早めに アクセルを離そう

エンジンブレーキで2%ほど燃費が改善します。

これら3つのエコドライブのポイントは焦らず、穏やかな運転を心がけることにつながり、安全運転にもつながります。

エアコンの使用は適切に

車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときはエアコンスイッチをOFFにしましょう。

OFF



A/C

無駄な アイドリングはやめよう

駐停車の際は、アイドリングはやめましょう。
また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です。

エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。

渋滞を避け、 余裕をもって出発

道路交通情報やルートをあらかじめ確認！
1時間のドライブで10分間余計に走行すると17%程度の燃料消費量が増加します。

自分の燃費を把握しよう

日々の燃費を把握すると、エコドライブ効果が実感できます。

迷惑駐車はやめよう

交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞の原因となります。
渋滞により、ほかの車の燃費が悪化します。



不要な荷物はおろそう

車の燃費は荷物の重さに大きく影響されます。
運ぶ必要のないものは車からおろしましょう。



タイヤの 空気圧を チェック

タイヤの空気圧が適正値より不足すると、2~4%燃費が悪化します。



エコドライブは、誰にでも取り組めるアクションです。
小さな意識から始めて、
社会全体の環境への貢献につなげましょう！



無理なく減らす、冬の省エネ



寒い冬は、暖房や給湯などでエネルギーの使用が増える季節です。少しの工夫で、快適に過ごしながらエネルギーの無駄を減らすことができます。無理のない範囲でご家庭で取り組んでみましょう。

まずは、ほんの少しの心がけから

暖房



重ね着をしたりして、無理のない範囲で室内温度をいつもより1～2℃下げましょう

窓に厚手のカーテンを掛けましょう
室内の暖かい空気を逃がさないようにします。

扇風機やサーキュレーターを天井に向けて動かしてみましょう



暖かい空気は天井にたまりやすいため、空気を循環させましょう。また、湿度が低いと寒く感じやすいため、加湿器などを利用して、体感温度を上げてみましょう。

フィルターの掃除をしましょう

目詰まりしたフィルターだと暖房効率が悪くなります。定期的に暖房機器のフィルターを掃除しましょう。

冷蔵庫

冷蔵庫を冷やしすぎないようにしましょう
(冬の間は、強→中へ)
※食品の傷みにはご注意ください。

扉を開ける時間を短くしましょう

食品を詰め込みすぎないようにしましょう



給湯



お湯の出しすぎに注意し、シャワー時間を短くしましょう

入浴は追い焚きをしないでいいように、間隔を空けずに入りましょう

お皿を洗うときのお湯の温度を下げましょう

温水洗浄便座



便座保温・温水の設定温度を下げ、便座のふたとじましょう

照明



リビングや寝室の明るさを下げ、不要な照明はすべて消しましょう

テレビ



省エネモードに設定し、画面の輝度を下げましょう

見ていないときは消すことを心がけましょう

無理なく「減らす」



それぞれのご家庭にあわせて

「ゆったり省エネ」

「省エネ」というと、我慢して無駄を減らす、というイメージがありませんか？

新潟の冬の寒さを我慢するというのはちょっとつらいですね。寒すぎるのは健康にも良くありませんので、我慢するのではなく、ちょっとしたことでできる省エネをしてみましょう。エアコンのフィルターを定期的に掃除する、冷蔵庫を冷やしすぎない(冬の間は強→中へ)、便座のふたを閉じる。どれもたったこれだけで？ということですが、無理なく減らすのに有効な方法です。

また、初期費用は少しかかりますが、照明をLEDに交換すると節電にもなりますし、LEDの寿命は長いため交換作業の回数が大幅に減り、長期的にみて大変お得です。